

# 西洋史籍講読3－III

科目ナンバリング HEA-405  
選択必修 2単位

能勢 和宏

## 1. 授業の概要(ねらい)

イアン・カーショウ『地獄の淵から:ヨーロッパ史1914-1949』を読み、第一次世界大戦から第二次世界大戦に至るヨーロッパの現代史を学びます。

受講者は同書を分担してそれぞれ2回ずつ発表を行います。各授業回の後半では、受講者全体でディスカッションを行います。

## 2. 授業の到達目標

- ・ヨーロッパ現代史の基本知識を身に着ける。
- ・口頭発表のスキルを向上させる。
- ・積極的にディスカッションに参加できるようになる。

## 3. 成績評価の方法および基準

- ・口頭発表(60%)
- ・ディスカッションへの取り組み(40%)

## 4. 教科書・参考文献

参考文献

イアン・カーショウ著、三浦元博訳 『地獄の淵から:ヨーロッパ史1914-1949』 白水社

## 5. 準備学修の内容

事前に該当箇所を読み、新たな気づきや疑問点などをまとめたうえで、授業に臨む。

## 6. その他履修上の注意事項

## 7. 授業内容

- 【第1回】 ・授業の概要を説明する
- 【第2回】 ・概説「自滅時代のヨーロッパ」を読む  
・レジュメの作り方、同書の概要を把握する
- 【第3回】 ・第1章「瀬戸際で」を読む  
・第一次世界大戦に至るヨーロッパの混乱を学ぶ
- 【第4回】 ・第2章「大惨事」を読む  
・第一次世界大戦の展開と影響を学ぶ
- 【第5回】 ・第3章「不穏な平和」を読む  
・第一次世界大戦後の講和の特徴を学ぶ
- 【第6回】 ・第4章「火山の上で踊る」を読む  
・「黄金の20年代」と呼ばれる戦間期の政治・経済・文化的な特徴を学ぶ
- 【第7回】 ・第5章「迫りくる暗雲」を読む  
・世界恐慌がもたらしたヨーロッパの混乱を学ぶ
- 【第8回】 ・これまでの授業のまとめ  
・第一次世界大戦がヨーロッパにもたらした変化について考察を深める
- 【第9回】 ・第6章「危険地帯」を読む  
・ドイツ、イタリア、ソ連で樹立する独裁政権を学ぶ
- 【第10回】 ・第7章「奈落へ」を読む  
・融和外交、人民戦線の失敗などを通じて、第二次世界大戦に至る経緯を学ぶ
- 【第11回】 ・第8章「生き地獄」を読む  
・第二次世界大戦の展開と影響を学ぶ
- 【第12回】 ・第9章「暗い数十年の静かな変化」を読む  
・1910年代～40年代のヨーロッパ社会・文化の変化を学ぶ
- 【第13回】 ・第10章「灰の中から」を読む  
・第二次世界大戦終結後に再建されるヨーロッパの特徴を学ぶ
- 【第14回】 ・授業の総括  
・二度の世界大戦がヨーロッパにもたらした変化について考察を深める
- 【第15回】 ・オンライン授業  
・戦後ヨーロッパの見取り図を説明する